

ワーキンググループ報告書等を踏まえた 今後の気象庁の取り組みについて

WG報告書等を踏まえた今後の気象庁の取り組みについて

WG報告書等において、気象庁が以下の事項に向けた取り組みを行うこととされた。

- ◆ **気象庁による国民にあまねく警戒・注意を呼びかける予測情報の実現**
(長周期地震動に関する情報検討会平成28年度報告書)
- ◆ **長周期地震動の情報を広く社会に役立てるため、民間事業者による予測情報を安心して利用することが可能となるような仕組みの構築等の検討**
(長周期地震動に関する情報検討会 多様なニーズに対応する予測情報検討WG報告書)
- ◆ **WGで整理した予測情報の社会実装に向け、今後さらに具体的な検討・検証を進めるための実証実験の拡大・継続**
(長周期地震動に関する情報検討会 多様なニーズに対応する予測情報検討WG報告書)

気象庁による国民にあまねく警戒・注意を呼びかける予測情報の準備

長周期地震動に関する情報検討会平成28年度報告書の内容に基づき、気象庁からの情報提供を可能とするために必要な準備を進める。

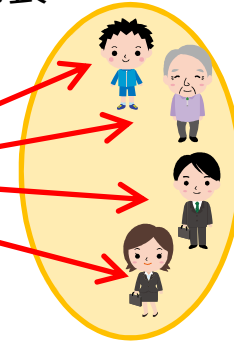


緊急地震速報 (警報)

長周期地震動階級3以上が予想される場合にも
緊急地震速報 (警報) を発表



報道機関、地方公共団体、
配信事業者等



長周期地震動の予報等
(震源情報・揺れの予想)

個々の高層ビル等の多様なニーズに対応する
予測情報が必要

予報事業者等



建物の高さ、構造、
地盤のデータ等

高所作業業者への情報提供

ビルの在館者に対する情報提供

様々な情報提供

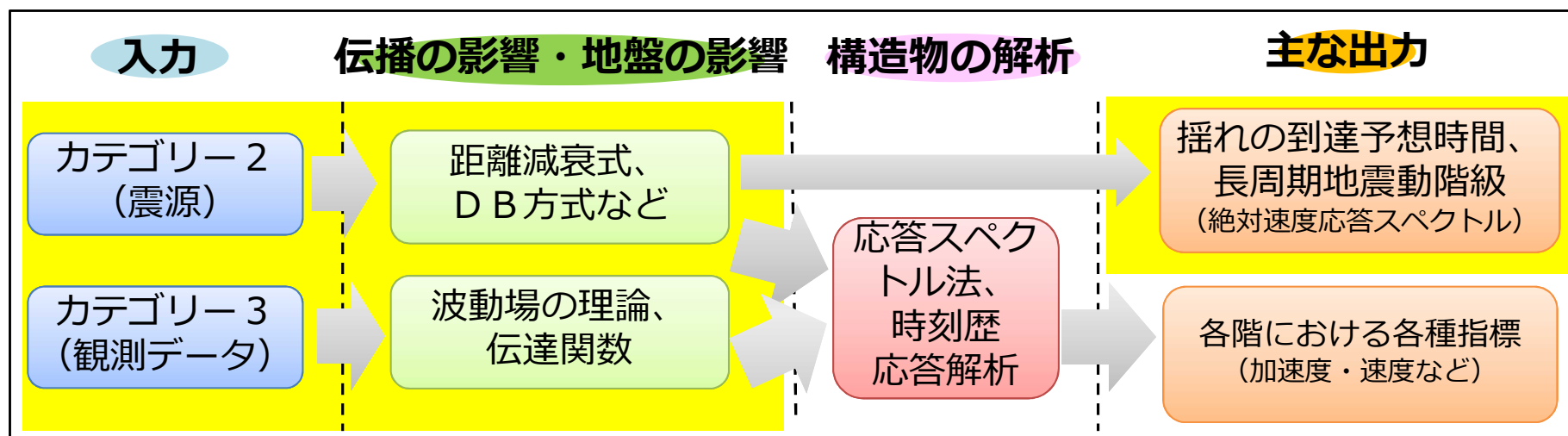


民間事業者による予測情報について

民間事業者が提供する予測情報を広く安心して利用することが可能となるよう、緊急地震速報の予報業務許可制度なども参考にしつつ、必要な仕組みの構築等の検討を進める。

多様なニーズに対応する長周期地震動の予測情報の実用化に向け、民間事業者による予測情報を安心して利用することができる仕組みを構築する。緊急地震速報の予報業務許可制度を参考に、今後の実証実験の成果等も踏まえつつ、必要な制度設計を行う。

震源と観測データを入力とし地震動を即時に予測する技術を予報業務許可の対象とする方向で検討している。（黄色網掛け部分）



- カテゴリー 1 : 気象庁の警報・予報 (計画中)
- カテゴリー 2 : 気象庁の震源をもとにした事業者の予測情報
- カテゴリー 3 : 気象庁の震源および観測データを用いた事業者の予測情報

今後の実証実験について

WGで整理した予測情報の社会実装に向け、
今後さらに具体的な検討・検証を進めるための**実証実験の拡大・継続**

